

# たまがわ つるみがわ さがみがわ 川の市民情報

2020年  
10

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>  
TEL: 045-503-4015 FAX: 045-503-4092 メール: [ktr-keihia50@mlit.go.jp](mailto:ktr-keihia50@mlit.go.jp)

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

## ドローンによる海岸地形の計測

関東地方整備局では、令和2年9月28日に、**グリーンレーザースキャナー※**搭載のドローンによる計測を実施しました。

場所は、京浜河川事務所が管理する西湘海岸（神奈川県中郡二宮町）です。

東京都、神奈川県や千葉県の職員も参加したこの計測は、関東地方整備局が各都県と連携して実施する大規模な海岸地形の三次元データ化プロジェクトの一環です。

現在の水中の地形を測る方法は、船などに音響測深器を登載して、発した音波が河床、海底から跳ね返り戻るまでの時間を水深に換算し、河床や海底の地形の形状を測量する手法が主流です。

この方法だと、波打ち際の水深が浅く船が入れないところの計測ができなかったり、測量に多くの時間を要したりします（約12.6kmの海岸水中部の計測に約50日）。

一方、**グリーンレーザースキャナー※**搭載

### ●陸上・水中レーザードローンについて



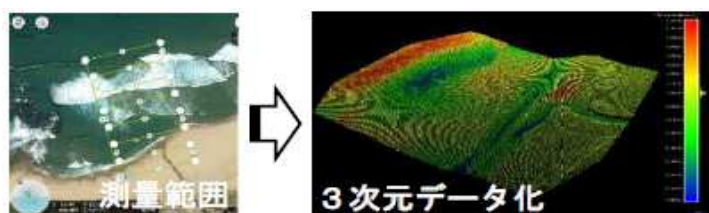
▲当日の様子▼



のドローンを使用すると短時間で広範囲の計測が可能になります（上記範囲で約11時間）。計測したデータを3次元データ化するために1～2週間で成果が確認でき、災害時などでも有効な方法です。

海岸の陸上部と水中部を同時に3次元データ化することにより、海岸の堤防・護岸等の点検、砂浜の砂の移動メカニズムを解明し、砂浜の保全についてより効果的な対策の検討が行えます。

また、ドローンを用いた3次元データによるより高度な維持管理も期待されます。

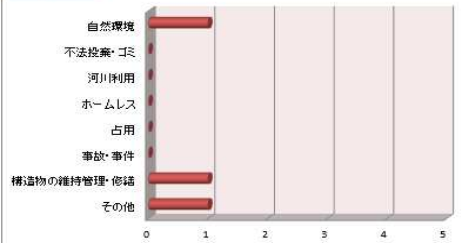


※**グリーンレーザースキャナー**とは、緑色レーザーを照射し、水面反射するパルスの往復時間と、水を透過し河床、海底で反射するパルスの往復時間差から水深を算出して、陸上と河床、海底の地形を同時に3次元計測するシステムです。

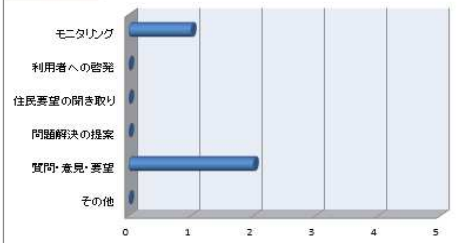
# RCM活動報告 令和2年9月

## 今回は、2件のご報告を頂きました！

### 対象分野



### 連絡内容



| 管 轄 区 間 | 登録人数 | 報告人数 | 報告件数 |
|---------|------|------|------|
| 鶴見川下流   | 3人   | 0人   | 0件   |
| 鶴見川上流   | 5人   | 1人   | 1件   |
| 多摩川下流   | 2人   | 0人   | 0件   |
| 多摩川中流   | 4人   | 0人   | 0件   |
| 多摩川上流   | 1人   | 0人   | 0件   |
| 相模川     | 7人   | 1人   | 1件   |
| 浅川      | 1人   | 0人   | 0件   |
| 合 計     | 23人  | 2人   | 2件   |

**9月の御報告より** 一部内容を省略させていただいています。皆様からのご報告お待ちしております！

### 相模川分科会 中谷亜子さまより

相模川右岸堤防平塚市中堂地先川表道路付近にて、先月から陥没箇所の発見を報告しております。

今月に入り、写真のような緊急車両の行き来を、5回以上確認しております。

特に、写真の救急車のような、体調が悪い緊急患者様を搬送する大事な際に、陥没箇所が大きく影響して、車両が左右に揺れている上、砂埃と徐行せざるを得ない危ない状況を確認しております。

住民有志らによる埋め戻し等対応では、回答のご教示の通法的な問題や手続き等がかかるため、行政による、早急に安全で良好な道路状態を維持する対応を、再度強く望みます。

【御報告ありがとうございます。今回、情報頂きました緊急車両の通行情報は、河川利用者の安全確保に必要なことであり河川管理上の支障となりうる状況でもありますので、消防を含む関係部局に状況を確認し緊急での修繕について検討して参ります。】



## 8月号でご紹介した国土交通省照明車のミニカー！

株式会社タカトミーが、「国土交通省 照明車」のトミカを製造、販売しています。

これは、タカトミーが国土交通省の防災教育の取り組みに共感頂いたことから実現しました。

災害が起こった時に活躍する車両を通じ、子供達に防災について考えてもらうため作成。また災害現場のジオラマと動画を作成しトミカ博等で放映し、災害が起こったときにとるべき行動を分かりやすく伝えているそうです。

車体には「国土交通省」や「TEC-FORCE」の文字やロゴも。



災害現場で活躍する「照明車」

↓車体には国土交通省の文字が



アームも伸びます↓



### RCM事務局より

ふと立ち寄った家電量販店でトミカの国土交通省照明車のミニカーを知りました。発売は平成27年8月と5年前ですね。トミカは1970年に発売を開始し、この50年間で1000種類以上を発売しています。調べてみたところ国土交通省（旧建設省）関連のトミカはいくつかあり、NEXCO（旧道路公団）のパトロールカーは5種類くらいあるようです。レアなところでは、道路清掃車、道路工事標識車、除雪車などもあり、さらにレアな「河川パトロール車」もあったようです（現在は廃番）。

RCM事務局 鈴木、関屋